



2021年11月5日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経 理 部 長 櫻井 純

営業外収益・営業外費用及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

2021年12月期第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日)における、営業外収益・営業外費用及び特別利益・特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

外国為替相場の変動により、主に米ドル建てによる外貨預金及び外貨建関係会社貸付金で評価替えを行ったことにより為替差益 369,598 千円を計上いたしました。

当社と共同開発契約を締結しているカナダのバイオ医薬品企業である Vasomune Therapeutics Inc. が、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)を標的とする同社の主要な候補薬である AV-001 の継続的な開発のため、カナダ政府及び米国国防総省より補助金を受領いたしました。当社開発費用の分担に応じて獲得した補助金を補助金収入として 31,792 千円を計上いたしました。

また、当社が出資しております投資事業有限責任組合の運用益発生により投資事業組合運用益 26,343 千円を計上いたしました。

2. 営業外費用の計上

新株予約権の行使に伴う登録免許税および証券代行手数料の発生等により、株式交付費を 96,141 千円計上いたしました。

3. 特別利益の計上

当社はストック・オプション制度を採用しておりますが、権利保有者の失権に伴い、当該新株予約権について新株予約権戻入益を 32,844 千円計上いたしました。

4. 特別損失の計上

2021年12月期第3四半期連結会計期間(2021年7月1日から2021年9月30日)において当社が保有する投資有価証券について、簿価に比べて時価が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損 24,615 千円を計上いたしました。この結果、2021年度12月期第3四半期連結累計期間において投資有価証券評価損 163,203 千円を計上いたしました。

5. 今後の見通し

2021年度の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症予防DNAワクチン開発について、今後の臨床試験の規模や実施方法等の詳細な内容が未確定であり、また、国等からの補助金についても今後の開発段階で、どのような公募の有無があるか不明であるため、現時点では業績への影響を見通すことが難しい状況となっております。

こうした状況を踏まえ、現時点では適正かつ合理的な業績見通しの算出が困難であると考えており、通期の業績予想は開示を見合わせます。なお、今後の事業の進捗を踏まえ、合理的な算出が可能になり次第速やかに開示いたします。

以上